

多彩なこぎ手



ボート混合かじ付きフォア コックス・立田寛之

ボート混合かじ付きフォア(運を向き、ペースを指示。視
動機能障害・視覚障害PR3)の覚障害のクルーには残りの
日本で、健常者の立田寛之(戸田 距離を1000メートルで伝
中央総合病院ク)は司令塔役のこえ、オールを着水音やスラ
ックスとして障害も性別も年齢も イド式シートが動く音から
違つ4人のこぎ手を支えた。最様子を察知して、技術的な
下位だったが「本当にいい仲間助言を送った。

間に恵まれレースができ 地元北海道の高校でボ
トを始めてからコックス一
た」と感謝した。 日大時代に日本一を

支えた司令塔

経験し、2017年アジア
選手権の男子エイトで2
位。ただ、優秀なクルーの
もり立て役に行き詰まりを
感じていた。

転機は右半身に障害があ
る八尾陽夏(戸田中央総合
病院ク)「ふじみ野市出身
」らと練習したこと。競技
歴の浅い選手と戦つ環境
で「足りない力が付けられ
る」と感じ、18年にパラボ
ートのコックスに応募し
た。

実績がある立田の加入は
メンバーに刺激を与えた。
最年長49歳の西岡利拓(琵琶湖ク)は「上を目指そう
と意識が変わった」と語る。
立田も健常者では「ある程
度決まっている」というオ
ールの長さで試行錯誤する姿
などを見て、先入観なく挑戦す
る大切さを学んだ。

個性豊かな仲間と歩んだ3年間
はひと区切り。立田は「日本のコ
ックスに五輪だけでなく、パラリ
ンピックの道もあると見せられ
た」と類のない成果を誇った。

ボート混合かじ付きフォア(運動機
能障害・視覚障害PR3)で日本チ
ームのコックスを務めた立田寛之
(左)。右は八尾陽夏。29日、海の
森水上競技場